

G I G A 校内研修推進 リーダー研修

津幡町立津幡南中学校 岡本 真吾

校内研修の実践例

1. 校内研修会での実践紹介
2. 校内での共通取り組み実践例の紹介
3. 成果と今後の課題

1. 校内研修会での実践紹介

- Chromebookでのデジタル教科書の使用の確認。
- 学習支援ソフトの使用の説明→演習
- クラスルームの使用の確認→夏休みの持ち帰り指導についての共通理解



校内研修での工夫

・ G I G A 通信の発行

校内研修会用の資料として、具体的な活用方法や、そのための手順などについてまとめ、発行している。口頭やスライドだけでは実践につながりにくいいため、よりコンパクトにまとめたい資料として定期的に出している。

G I G A 通信

令和3年6月2日発行
津幡町立津幡南中学校
学習指導部・視聴覚部

ICTの活用事例

生徒・職員への一人1台端末の整備が完了し、本格的にICTを活用した取り組みがスタートすることとなります。これまで、スマートスクールでの動画の視聴をしていただき、ありがとうございました。何か、使えるものがあれば、日々の教育活動に活用していきましょう。今回は、Chromebookの活用事例として、いくつか紹介します。できそうなことから是非挑戦してみてください。

1. Googleスライドを利用した連絡事項の掲示

- ・クラウド上に保存ができるので、職員室で作成したスライドを教室でスムーズに利用することができます。
- ・スライドのデータを共有すれば、学年・学校で統一した伝達事項の掲示をすべてのクラスで映すことができます。連絡漏れを防いだり、クラスでの差がないようにできるのではないのでしょうか。



<方法>

- ・作成した資料をマイドライブ（個人）共有ドライブ（設定により、全員が使用可能）に保存する。
- ・Chromebookを教室へ持っていき、マイドライブ（または共有ドライブ）のスライドデータを開く。
- ・キャストから教室番号（※）を選び、大型モニター（HDMI2）に映す。

※3年3～5組は（2F-4～6）、2年3～5組は（3F-4～6）です。ご注意ください！

2. ベル学や振り返り学習、自習時間などのドリルパークの活用

5分程度時間が余ったときに、自学としてドリルパークを使ってみてはどうでしょうか。教員アカウントからは、全員の取り組み時間や正答率などの一覧を見て、苦手分野などを把握することができます。また、メッセージを送ることもできます。

| クラス単位 | 37分 | 25分 | 84.2% | 144.7 | 122.0 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|
| 1 選択 読 | 28分 | 18 | 80% | 120 | 97 |
| 2 同級 作給 | 28分 | 22 | 86% | 120 | 104 |
| 3 物言 演成 | 22分 | 21 | 77% | 96 | 74 |
| 4 伊丹高規希 | 20分 | 12 | 84% | 71 | 60 |
| 5 石原 聖貴 | 34分 | 32 | 85% | 195 | 166 |
| 6 石本 瑠良 | 28分 | 26 | 86% | 284 | 246 |
| 7 藤子 輝 | 1時間24分 | 17 | 92% | 118 | 109 |
| 8 片野 理汰 | 31分 | 31 | 90% | 207 | 188 |
| 9 加藤 聖貴 | 16分 | 13 | 93% | 70 | 74 |

2. 校内での共通取り組み

◎朝礼、終礼での予定確認

9月7日(火)
— 予定の確認 —

本日の予定

- ・平常日課 火曜時間割
- ・今週の音美総は、
1組：音楽 2組：美術
3～6組：総合

○確認事項①

- ・登校後の準備がどのクラスも遅くなってしまいました。ただ、数人が時間ギリギリの登校となっており、余裕をもって登校を！
- ・廊下やトイレでの休み時間の行動が気になります。コロナ感染予防はもちろんのこと、正しい休み時間の行動を徹底すること！

○確認事項②

- ・清掃など、机や椅子を引きずっている場面が見られます。夏休みにも、コロナ対策のために、床の拭き・コーティング作業に多大な費用と多くの方（業者、先生、生徒）の労力をいただきました。今後十年と今の状態をキープできるようにしていきましょう。

本日の予定

- ・平常日課 火曜時間割
- ・今週の音美総は、
1組：音楽 2組：美術
3～6組：総合

◎朝礼、終礼での予定確認

担当者が

- ・日課、学校行事、時間割について
- ・良い行動や、今後改善すべき行動について
- ・授業風景や空き教室の風景について

などをスライドにまとめ、Chromeの共有ドライブに入れる。

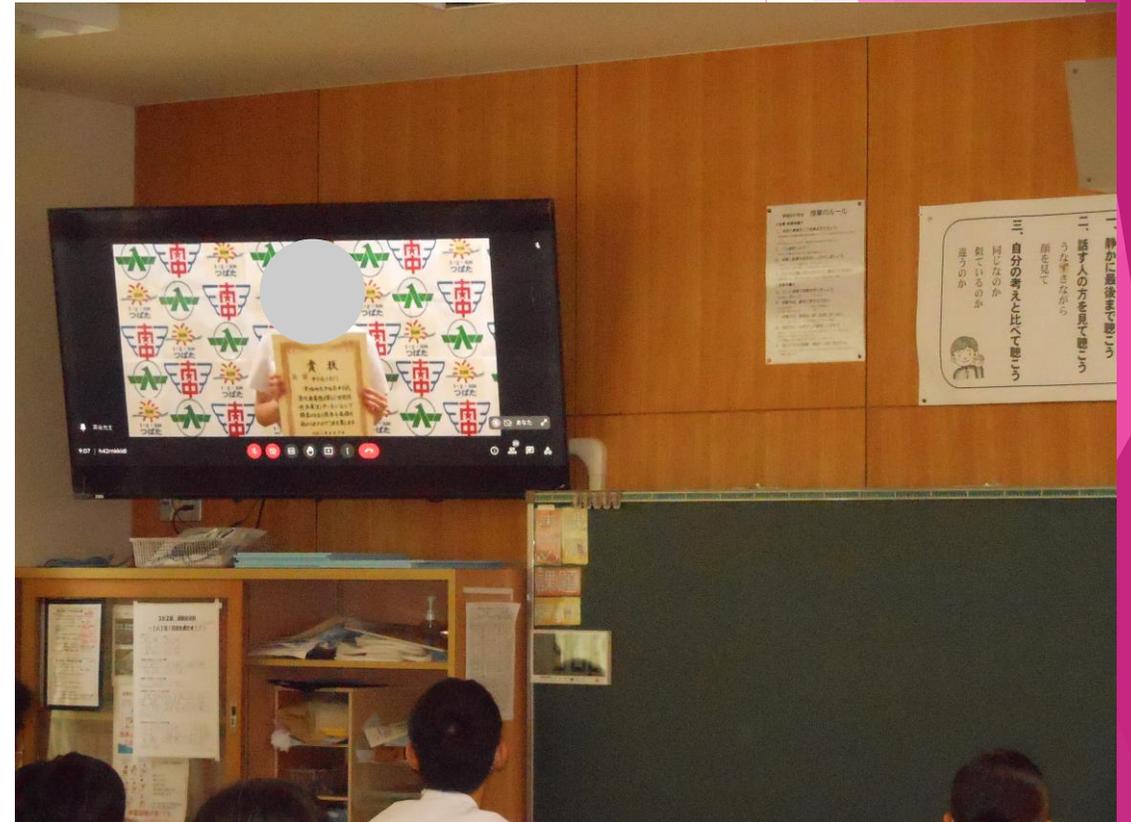
担任は、Chromebookからスライドを大型モニターに投影し、全体に伝達する。

実践を通して

- 連絡漏れを防ぐことができる。
- すべてのクラスで共通理解を図ることができる。
- 全職員が随時更新できるため、リアルタイムで伝えるべきことを更新できる。
- 全員が毎日一度はC h r o m e b o o kに触れる機会を設けることができる。
- △担当者に負担が偏る。
- △更新時期によって、更新が反映されないことがある。

2. 校内での共通取り組み

◎ 全校集会のリモート形式での実施



実践を通して

- 全教職員がGoogle meetを使用できるようになり、今後オンライン授業が実施される状況になっても対応できるようになってきた。
- △トラブルに対応できる教員が限られている。
- △meetを画面に映すことはできるが、発信する方法については、今後研修を通して全教職員ができるようにしていかなければならない。

3. 成果と今後の課題

<成果>

- Chromebookに毎日触れる習慣をつくったことで、有用性を共有することができた。
- 紹介した実践をもとに、教科の特性に合わせて授業に活用した。さらに、教科部会で活用事例を共有し、他の教員も同様の活動を行えるようになった。
- 夏休みのスムーズな持ち帰り指導につながった。

3. 成果と今後の課題

<課題>

- ・トラブルへの対応ができずに、授業が中断することがあった。
- 具体的なトラブルの内容とその対策についての情報共有も今後必要となる。
- ・授業スタイルを変えることに抵抗のある教職員もあり、活用することの有用性をさらに伝えていかなければならない。

G I G A 校内研修推進 リーダー研修

津幡町立津幡南中学校 岡本 真吾